

主な記事

ステージアップ

Stage Up

- ・臨海地区に樹木を植え続けた海風の森をMAZUつくる会
- ・視覚障害者の役に立ちたいと活動する朗読ボランティアグループかざぐるま
- ・豊かな心が育つことを願う 読み聞かせボランティアグループどんぐり
- ・財団情報「地域社会に貢献している川崎の会社と人々」



詳細・他記事等

◆ 施設めぐり

- ・柿生郷土史料館
- ・中原図書館
- ・かわさきエコ暮らし未来館

◆ 情報ポケット

- ・お楽しみコーナークイズに答えよう!
- ・2019年度第I期陶芸教室受講生募集
- ◆ お知らせ
- ・2019年度前期地域協働講座受講生募集
- ・生涯学習プラザのご案内《施設利用》

- ◀ 川崎区市民健康の森「海風の森」撮影日 2018年9月9日

<インターネット川崎ガイド>シリーズ⑥ 海風の森と風車

川崎臨海部にある浮島町公園内には「海風(うみかぜ)の森」があります。この森は区内に一つある川崎区の市民健康の森で「海風の森をMAZUつくる会」のみなさんが、草刈りや花植えなど運営管理しています。

公園内から森や海・風車や飛行機等を見ることができ、写真撮影のベストスポットとしてお勧めです。

インターネット川崎ガイド

検索



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

臨海地区に樹木を植え続けた 海風の森をMAZUつくる会

初日の出を望むことのできる海風の森

川崎市の臨海部にある浮島町公園は、川崎最東部の公園です。多摩川の河口にあり、海つり施設が隣接しています。この浮島町公園内には、川崎区市民健康の森があり、愛称で「海風(うみかぜ)の森」と呼ばれています。この森は、「海風の森をMAZU(まず)つくる会(以降「同会」と略します)」が管理しています。横浜ベイブリッジより延長された東京湾岸道路と川崎と千葉を結ぶアクアラインの川崎側の入口がすぐそばにあります。近くの海上には羽田空港のD滑走路があり離着陸する飛行機を見ることができます。



▲ 森と風車と飛行機と海

100種類余りの草花と127種類の樹木が植えられており、春にはスイセンや河津桜、秋には皇帝ダリアを見ることができます。また、約30種類の渡り鳥を観察することができます。



▲ 樹木が生長した海風の森

海鳥たちが憩う、川崎で唯一川と海に面した、初日の出を望むことのできる市民健康の森です。

主な常時活動

同会は、定例の常時活動として、毎月第2・4日曜日と第1水曜日の午前中に、樹木の下枝おろし・草刈り・園内のごみ拾い・薬(ひこばえ)切り・草花用花壇設置・樹木の名札等の作業をしています。5月から11月にかけては、草木が伸びすぎな



▲ 夾竹桃の粉碎機処理

いうちに何回かに分けて草刈りや下枝おろしをしています。

年間計画にそって作業していますが、内容は作業員自身に任されており、自由に作業する

ことを基本にしています。機具使用時は、2名以上で作業にあ

たっています。

イベント・協働行事への参加

その他のイベントや協働行事の活動として、同会主催のイベント・東海道川崎宿のイベント参加・大師サマーフェスタ(クラフト作りやザリガニ釣り)参加・保育園(東小田、大島、藤崎)との世代間交流会(ゴーヤ等の土作り、植え付けネット張り指導)・観察会や自然調査・市や区の協働行事等に協力しています。



▲ 作業後のカップ麺タイム



▲ 「海風の森で遊ぼう」ピオラ植え

代表の小笠原さん(89歳)は、自分たちの植えた樹木を見ることを楽しみにしているそうです。小笠原さんに電話で取材依頼したところ、夏の暑い時期には、「朝5時に海風の森へ来て作業をしている」という声に、驚きました。また、取材当日には、ヘビを確保しましたが、また森に返してあげました。ぜひ



▲ 小笠原由夫さん

紹介したい木があるといいながら、植えてあるところまで案内してくれました。それは、2005(H17)年蒔いたドングリで、ワインの栓やバドミントンシャトル(羽根)等に使用されているコルクガシでした。コルクはエコロジー型の素材と言われ、資源保護の観点



▲ コルクガシの弾力確かめる
小笠原さんと中村さん

から見ても自然にやさしい素材で、20年毎に再生する樹皮だけを採取してコルク素材を作ることができるそうです。

緑の樹木、青く広がる空と海、そして白い風車と飛行機は、写真撮影のベストスポットとしてお

薦めです。会員を随時募集中ですので、興味のある方は、ぜひご一報ください。

■ 問合せ 小笠原 由夫さん TEL 090-4456-8029

視覚障害者の役に立ちたいと活動する 朗読ボランティアグループかざぐるま

活動を継続して32年

視覚障害者の役に立ちたいと、出前朗読からスタートした「朗読ボランティアグループかざぐるま」（以降「同会」と略します）は、1986(S61)年に発足してから32年が経過しました。（平成30年11月現在、会員は21名）

主な活動内容と地域事業協力

活動日時は、毎月第1・3土曜日の9時～16時30分（主に録音作業）、第4土曜日の10時～12時（「かざぐるま情報」の原稿整理、活動報告・連絡、会議等）行っています。

パソコンを使って「録音図書（CD）製作」を中心に、「出前朗読」「地域の福祉関連事業への協力」等を行っています。録音図書（CD）は、



▲ 3人一組での録音作業

- ①プライベートサービス（依頼者の要望に応じて）
- ②自主制作CD「かざぐるま情報」
- ③「弱問研つうしん」CD版等を製作して発送しています。

出前朗読では、依頼の個人や施設へ出向いて希望の文

書を対面で読んでいます。

また、中部身体障害者福祉会館主催の音声訳ボランティア講座（原則年2回）への協力やフェスティバルの参加・なかはら福祉健康まつりへ参加等、地域の福祉関連事業へ積極的に参加・協力しています。

利用者の声に 励まされ

利用者からの感謝の言葉や反応が何より嬉しいと同会会長の塩田道子さんは、話します。また、山歩きをしたり、詩作に取り組んだりする前向きな利用者から、元気をもらっていると副会長の稲垣雅子さんは話します。



▲ 笑顔の会員のみなさん

会員を募集しています

同会会員は、それぞれの特長を生かして、互いに協力しながら和やかな雰囲気の中で、活動しています。「表現読み」を学ぶ会員も多く、年に1回会員同士で聴き合う朗読発表会を催しています。

同会の活動に興味をお持ちの方は、お問い合わせください。見学も受け付けています。

■ 問合せ 川崎市中部身体障害者福祉会館
（活動時間のみ連絡可）TEL044-733-9675

豊かな心が育つことを願う 読み聞かせ ボランティアグループどんぐり

毎週水曜日15時～15時30分、プラザ橋の2階和室では、おはなし会を開催しています。おはなし会を担当するのは、「読み聞かせボランティアグループどんぐり」（以降「同会」と略します）のみなさんです。



▲ どんぐりのみなさん
夏休み特別お話し会

同会は、プラザ橋ができた翌年1994(H6)年に設立して今年で24年目になります。子どもたちに「おはなしを通して豊かな心が育つことを願いながら楽しく」をモットーに活動を続けています。

おはなし会を楽しみにする子どもたち



▲ 紙芝居「まほうのきょうそう」こぞうさまの読み聞かせと紙芝居「まほうのきょうそう」のおはなし会をしていました。

訪れた11月21日のおはなし会では、季節にも考慮し、同会会員のみなさんが選んだ4冊の本「はっきょい どーん」「とつくんトラックもりへぶぶー」「ゆかしたのワニ」「はなたれ

この日参加した子のカードのページにシールがいっぱいになったので、手作りメダルが贈られ、みんなから拍手をもらっていました。

年間の主な活動

同会の定例会は月1回開催し、おはなし会の担当や日程を調整しています。毎週水曜日のおはなし会の他に、次のような活動を行っています。



▲ 手作りメダル贈呈

- ・夏休み特別お話し会（年1回）8月に118人が参加
- ・プラザ橋祭り（年1回）紙芝居中心のおはなし会
- ・小学校（わくわくプラザ）おはなし会（毎月）
- ・保育園おはなし会（毎月）
- ・親子おはなし会（1～2歳対象）年3回
- ・介護施設おはなし会 年2回 等

同会代表の森豊子さんは、「本を読みながら子どもたちと一緒に楽しめることがとてもうれしい」また、都所さん・北原さんは、子どもたちの反応が良い時には、思わず「やったね!」と笑顔になると話します。

■ 問合せ プラザ橋（高津市民館橋分館・高津図書館橋分館） TEL 044-788-1531



2018度 地域協働講座・企業連携より 『地域社会に貢献している川崎の会社と人々』

★地域協働講座は2011(H23)年度から当財団が認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で、前期(4月～7月)・後期(9月～1月)の2学期制として開講しています。
★2018(H30)年度は、「健康・生活・福祉・企業連携・教育」等のコースを設け、企業・病院・近隣の関係機関や団体等と連携し、地域との密着性の高い講座を開講しました。

地域協働講座・企業連携について

【参加者の声:ものづくり・発想力(アイデア)に感服】

- ・素晴らしい発想を事業化できたことに敬意を表します。
- ・川崎にある中小企業、特にものづくり力や、それぞれに関わる発想力に感心しました。
- ・経営のアイデア、哲学を聞き、小企業なりの力強さを感じました。町工場の底力に期待し応援します。

地域協働講座は、シニア活動支援事業として2011(H23)年からスタートしました。身近な課題を学び地域で活かすことをねらいとして、当財団と認定NPO法人かわさき市民アカデミーの協働で企画委員会をつくり、講座の企画やカリキュラム作成および運営をしています。

人気の講座 企業連携講座

講座のテーマは、多岐にわたりますが、特に人気のある講座が企業連携講座『地域社会に貢献している川崎の会社と人々』です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、独自技術、先端技術、ものづくり、環境、まちづくり、福祉等、一般に知られにくい企業の様々な分野の研究や、地域貢献について知ることができます。17回連続開講(年2回)しており、これまで約160の会社や個人の方々に登壇いただきました。

受講生もスタッフとして運営

この講座の特色は、世話人として参加した受講生もコーディネーターと一緒に、講師との打ち合わせ・企業の下見・講座プログラム・当日の会場準備・司会など企画・運営していることです。受講生の目線で運営することを心がけていることが、人気の理由の一つになっています。

今年度開催し好評だった講座をいくつか紹介します

市内で急速に増えてきた画期的なアスパラガスの新栽培法 「採りつきり栽培～生田キャンパス農場見学と収穫体験～」

2018年4月26日開催

講師:明治大学 農学部 元木 悟 准教授

明治大学 野菜園芸学研究室で開発されたアスパラガスの新しい栽培方法について、手法や、生産現場との連携等について学び、大学の圃場でアスパラガスの収穫体験もさせていただきました。 ※採りつきり栽培:一年間だけ養成した株について、翌春に萌芽する若茎をすべて収穫し、その株の栽培を終了させる作型



「川崎港見学会 ～海から見る川崎臨海部と羽田空港～」

2018年10月18日開催



川崎市港湾局巡視船「あおぞら」と参加者のみなさん

10回の内、2～3回ある現地見学会は、企業の活動を自分の目で見る事ができて毎回楽しみです。

巡視船の見学会などは、個人ではなかなか体験できないことなので、貴重な機会となりました。

「塩分摂り過ぎ? 塩分摂取量の見える化(減塩モニタ) ～味気のない減塩食に悩む人へ塩味を強めるソルトチップが解決～」

2018年11月1日開催



河野氏と東氏の講演

減塩モニタ



講師:(株)河野エムイー研究所 河野 英一 代表取締役
(株)LTaste 東 和彦 代表取締役社長

簡単に塩分摂取量を測定し、食事管理の手助けになるモニタを発明した河野さんと減塩食を食べる人たちに美味しい食事を楽しんでもらうためにソルトチップを開発した東さんの話は、みなさん興味津々でした。

※減塩モニタ:塩分摂取量簡易測定器。※ソルトチップ:微量(0.08gほど)の食塩を含む厚さ1-2mmのチップを歯の裏に貼るだけで塩味を感じさせる。

「密輸を防ぐゲートキーパー 国際郵便の玄関口 ～横浜税関川崎外郵便出張所・川崎東郵便局の見学～」

2018年11月22日開催

講師:横浜税関川崎外郵便出張所職員、川崎東郵便局社員



川崎東郵便局

麻薬犬検査場

外国からの郵便物の受け入れ作業、麻薬探知犬やX線による検査、知的財産侵害物品の取り締まりなど、海外からの郵便物がそれぞれの箇所で見学しました。

先端技術を導入し、国民生活の安全・安心を守るため昼夜を問わず水際で取り締まりを行っている税関、郵便局の業務について学ぶ貴重な機会となりました。



郵便物受入れ



コミュニケーション



「難聴と認知症の関係性からみる高齢者との 対話～コミュニケーションを活用した聴覚支援の最新研究」

2018年12月6日開催

講師:ユニバーサル・サウンドデザイン(株)
中石 真一路 (最高経営責任者)代表取締役



中石氏

かわさき基準(KIS)認証製品でもあるcomuoon(コミュニケーション)は、聴こえに悩む人が自ら工夫するのではなく、話をする側で聴こえを改善する、逆転の発想から生まれた卓上型聴こえ支援機器です。開発者の中石さんから、開発までの苦勞、製品づくりへの熱い思いを伺いました。

2019年度前期 地域協働講座 申込受付中:2/22締切 ホームページ参照 『地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その18』

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市 生涯学習プラザ	中原区の魅力とまちづくり -中原区民の意識と小杉周辺の移り変わり	川崎市中原区役所 区長 向坂(サキサカ) 光浩
2	4/18(木)	川崎市 生涯学習プラザ	建設業が石炭売場の川崎モデルから生まれた石炭物語 -大企業の知財を使って新しい事業展開へ	宝養生資材(株) 代表取締役 吉村 政城 経理部 吉村 千恵子 川崎市産業振興財団 西谷 亨
3	4/25(木)	川崎区	ライフサイエンス分野における世界最先端の研究開発エリア -ここ川崎から世界が、未来が変わる。	川崎市臨海部国際戦略本部担当係長 佐藤麻乃 川崎市建設緑政局羽田連絡道路建設 担当係長 本田卓士
4	5/9(木)	川崎市 生涯学習プラザ	ものづくりに熱い人を知りたい! Passion for Manufacturing! -デジタルとアナログを組み合わせて、精密板金の技術でつながる町工場	(株)ヒラミヤ 代表取締役 平宮 健美
5	5/16(木)	県立川崎図書館	ものづくり情報ライブラリー県立川崎図書館の機能と役割 -電子ジャーナルから社史まで ものづくり技術を支える	県立川崎図書館 館長 堀端 保聖 企画情報課長 矢島 薫
6	6/13(木)	川崎市 生涯学習プラザ	地域プロスポーツにおけるパートナーシップの考え方 -川崎を拠点とするバスケットチーム(川崎ブレイブサンダース)	(株)ディー・エヌ・エー 川崎ブレイブサンダース 営業部長 板橋 大河
7	6/20(木)	王禅寺処理センター 軽か合貨物ターミナル駅	全国初の鉄道を活用した廃棄物鉄道システム -クリーンかわさき号が一般家庭ごみを運ぶ	川崎市環境局 施設部 処理計画課 担当係長 小林 孝至
8	6/27(木)		脳と社会の架け橋を作る -脳・コンピューター問インターフェイス技術とこれから	芝浦工業大学 電子工学科生体電子工学研究室 教授 加納 慎一郎
9	7/4(木)	川崎市 生涯学習プラザ	映像のまち・かわさき -ロケ地かわさき 撮影現場こぼれ話	特定非営利活動法人かわさきMOVEARTOO(オーエ) 事務局 寺川 香苗
10	7/18(木)		IT研究のフロンティア -脳の機能を模した超低消費電力デバイスから、量子コンピューターまで	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所 新川崎事業所長 山道 新太郎

【今までの参加者の声】

- ・各社の独自の経営内容を学ぶことができました。
- ・中小企業の経営方針がきけるのが面白い。川崎にこんなにたくさん中小企業がある事をこの講座で知ることができました。
- ・川崎では、新しいことに取り組んでいるベンチャー企業がたくさんある事が分かりました。

■問い合わせ 川崎市生涯学習財団 事業推進室
地域協働講座 担当 044-733-6626

施設めぐり

市内公的施設の紹介

麻生区

柿生郷土史料館

小田急線柿生駅下車 徒歩7分
TEL 070-1503-6401

柿生郷土史料館設立の趣旨

柿生郷土史料館(以降「同館」と略します)は、麻生区の市立柿生中学校内にあります。



▲ 常設展示室

地域住民の遺跡・歴史的遺産や貴重な民俗資料を守りたい思いと、学校の郷土にある文化遺産を直に触れ、郷土に対する思いを育みたいという思いが一体となりお互いの連携と協力によって、同館は2010(H22)年に開館しました。

◆6つの特色 同館は、同館支援委員会と麻生歴史観光ガイドの会のみなさんに支えられ、次の6つの特色を大事にしています。

- 1.郷土の文化財を保存し、展示・公開
- 2.社会科教科書に登場する資料の実物展示
- 3.カルチャーセミナーで幅広く歴史や文化を学ぶ
- 4.研究・情報誌「柿生文化」を発行し、地域や日本の歩みを見つめる
- 5.「特別展」を開催し、より深く歴史・文化を考える
- 6.史料館の活動を通し、人々の人間関係を深める

◆常設展示

常設展示室には、「学問ノススメ」「地券」「砂鉄から造った包丁」等々、貴重な民俗資料等が数多く展示されています。



▲ 豊臣秀吉禁制(きんぜい)

中原区

中原図書館

JR南武線・東急東横線 武蔵小杉駅 下車徒歩1分
武蔵小杉西街区ビル5・6階 TEL 044-722-4932

武蔵小杉駅に直結で便利

中原図書館は、市立図書館の中央図書館的機能を持っています。地域資料やレファレンスが充実しており、CDを受入れています。1960(S35)年4月に設立し、



▲ 入口カウンター

2013(H25)年4月に武蔵小杉駅複合ビルにリニューアル開館しました。

館内は採光に配慮しており明るく、閲覧席は201席あります。平日は午後9時まで開館しており、学校や会社帰りの方々に利用されています。



▲ 閲覧席

◆予約本受取コーナー

予約本受取コーナーには、予約した本が置いてあり、照会機を通して、本を借りることができます。



▲ 予約本受取コーナー

◆おはなし会

大勢の市民協働ボランティアの方々が、おはなし会を開催しています。詳細は、ホームページをご覧ください。

◆開館日時

平日 午前9時30分～午後9時
土曜日・日曜日 午前9時30分～午後5時
国民の祝日 午前9時30分～午後5時
休館日 第3月曜日 年末年始

館内特別整理期間(蔵書点検など)

川崎区

かわさきエコ暮らし未来館

JR川崎駅東口16番「臨港バス川03系統浮島バスターミナル行き」終点下車徒歩10分 TEL 044-223-8869



▲ 未来館入口

環境について、楽しみながら学べる施設

浮島処理センター内にある「かわさきエコ暮らし未来館」は、地球温暖化対策や、太陽光発電等の再生可能エネルギー、ごみ等の資源循環について、見て・聞いて・さわりながら学ぶことのできる環境学習施設です。

展望スペースからは、浮島太陽光発電所(メガソーラー)を見ることができます。

◆展示室(3つのチャレンジゾーン)の紹介

2階展示室は、地球温暖化・再生可能エネルギー・資源循環の3つのゾーンに分かれています。「川崎の暮らし環境100年アルバム」という展示では、写真やビデオで年代毎の

川崎の環境を学べます。また風力発電の羽根の先端部分5m(全長40mの一部)が展示されており、大きさを実感できます。



▲ 2階展示室 チャレンジゾーン

「めざせ!エコ暮らし」



▲ めざせ!エコ暮らし

では、エネルギーのムダづかいをゲーム感覚で見つけ、記録から答えあわせをすることができます。

◆開館日時

9:00 ~ 16:30
(休館日: 毎週月曜、年末年始。月曜日が祝日の場合は翌日が休館)

柿生郷土史料館

柿生郷土史料館

検索



▲ 古文書輪読会

◆ 古文書講座(輪読会)

開催した古文書講座(輪読会)は、実力アップと交流深化の場となりました。

◆ 柿生文化

2008(H20)年7月創刊した情報・研究誌「柿生文化」は、2月で129号になりました。ホームページよりバックナンバーを見ることができ、郷土の歴史を知ることができます。



▲ 情報・研究誌「柿生文化」

◆ カルチャーセミナー

2006(H18)年5月19日に始まったカルチャーセミナーは、毎回造詣の深い講師を招いており、今まで78回開催しました。

◆ 開館日時(原則)

- ・奇数月(1・3・5・7・9・11月)は毎週日曜日
 - ・偶数月(2・4・6・8・10・12月)は毎週土曜日
- 10:00~15:00

◆ お楽しみコーナー

226号
クイズに答えよう!



川崎市最東部の浮島町公園内にある川崎区市民健康の森は、愛称では漢字2字で「○○の森」と呼ばれています。緑の樹木・川と海・風車と飛行機も見ることができる撮影スポットです。

下の○にあてはまる言葉を入れてください

「○○の森」 ※ヒント表紙

【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、E-mailで担当宛、応募してください。

※締切 2019年2月28日(木) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

E-mail: stage-up@kpal.or.jp

TEL 733-5811 FAX 739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆225号のクイズの答え・・・干潟

2019年度 第I期

陶芸教室 受講生募集

≪捏(こ)ねる→成形→削る→釉掛(ゆか)け(全12回)≫
手づくりの器の味わいを日々の生活に



◆水曜コース 4月3日~7月10日

◆土曜コース 4月6日~7月20日

(時間共通) 手びねり 9:30~12:30 電動ろくろ 13:30~16:30

- 会場 川崎市生涯学習プラザ 地下実習室
対象 18歳以上の方 **電動ろくろコースは手びねり経験の有る人**
定員 手びねりコース各15名、電動ろくろコース各11名
内容 土(菊)練り、成形、削り、絵付け、釉薬かけ 等
費用 手びねりコース 34,300円・電動ろくろコース 40,500円
(共に材料費、焼成料・釉薬代込み)

申込方法 はがきに、いずれかの希望コースを明記して、
水曜手びねり、土曜手びねり、水曜電動ろくろ、土曜電動ろくろ
住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、担当へお申し込みください。 ▲ 受講生の作品

締切日 2019年3月4日(月)必着

※応募者多数の場合は抽選(初心者優先)結果を3月9日(土)までにお知らせします。

問合せ先・担当 (公財)川崎市生涯学習財団事業推進室 陶芸教室担当 渡辺

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41

TEL:044-733-5893 FAX:044-733-6697 E-mail suisin6@kpal.or.jp



2019年度 前期
かわさき市民アカデミー

地域協働講座 受講生募集!

児童精神科医 石川 憲彦 ほか

発達障がいを理解する一思春期から青年期まで

発達障がいについて理解をするための講座です。今回は主に13歳頃から青年期の方の発達障がいの基礎知識、当事者や家族が抱える困難について学び、発達障がいへの理解を深め、周りの大人はどのように支えればよいかを考えます。

4月18日(木)～6月3日(月) ※6/3のみ(月)
10:00～12:00 計5回
受講料4,860円 定員70名

市内企業の代表と研究者 ほか

地域社会に貢献している川崎の会社と人々その18

川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。

4/11(木)～7/18(木)
13:30～15:00 計10回
受講料8,220円 定員70名

日本社会事業大学 学長 神野 直彦 ほか

みんなで考えたい「家族」について ～現代の家族が抱える問題とこれから～

少子高齢化社会による人口減社会、格差拡大が招く貧困問題など「家族」を取り巻く社会状況は複雑化、深刻化しています。新たな社会状況を踏まえた「家族」をどうとらえたいのか、夫婦・親子の関係をどう考えればいいのか、一緒に考える場にしませんか。

5月10日(金)～7月5日(金)
10:30～12:00 計5回
受講料4,110円 定員50名

聖マリアンナ医科大学
教授 池森 敦子 ほか

生活習慣病から様々な病まで ～この備えをして 健康で100歳まで生きる～

生活習慣病を中心に、病気との関連・健康診断や人間ドッグの検査値の見方・食生活の改善・運動療法などについて学びます。

6月4日(火)～7月16日(火)
14:00～15:30 計5回
受講料4,110円 定員70名

NPO法人日本傾聴ボランティア協会
事務局 山田 豊吉

傾聴ボランティア講座

傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。傾聴は、人間関係の基本です。

5月8日(水)～6月5日(水)
13:00～17:00 計10回
(1回2時間、1日に2回連続して実施)
受講料9,720円 定員40名

会場：川崎市生涯学習プラザ 他
申込み：詳細を掲載の「かわさき市民アカデミー講座のご案内」パンフレットの受講申込書をご利用下さい。
(生涯学習プラザや各施設にあります)

ホームページからも申込みができます。 <http://npoademy.jp/> 申込み締切 2月22日(金)
問合せ：かわさき市民アカデミー TEL 044-733-5590(平日9:00～16:00)

生涯学習プラザのご案内《施設利用》どなたでもご利用可能です

★ 会議・研修等で利用できます。【土・日・祝日は2割増】 (税込、単位円)

室名	利用定員	利用内容	利用料金			
			午前/9:00 ～12:00	午後/13:00 ～17:00	夜間/17:30 ～21:00	全日/9:00 ～21:00
大会議室 401	144名	講演会・イベント・研修	6,170	7,200	8,220	21,590
会議室	303	24名	2,090	2,760	3,500	8,350
	301	72名	3,080	4,110	5,140	12,330
	201	72名	3,080	4,110	5,140	12,330
	202	32名	2,570	3,600	4,620	10,790
活動室 101	16名	研修・体操等	1,540	2,050	2,570	6,160

★ ヨガ・ダンス・太極拳等運動系で利用できます。【土・日・祝日は2割増】 (税込、単位円)

室名	利用定員	利用内容	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00
			～11:00	～13:00	～15:00	～17:00	～19:00	～21:00
フィットネスルーム 402	50名 180㎡	卓球・ダンス・各種体操等	1コマ(2時間) 3,600 (全日 18,000)					
多目的ルーム 302	50名 124㎡	ダンス・合唱 各種体操等	1コマ(2時間) 2,570 (全日 12,850)					
活動室 203	50名 120㎡	ヨガ・各種体操等						

かわさきWi-Fi 利用できます。

1階すべての部屋・2階ロビーおよび203活動室等で「かわさきWi-Fi」(無料)が利用いただけます。
(2017年10月より)



▲202号会議室



▲302号多目的ルーム



▲303号会議室(PC可)

※詳しくはホームページで確認または、お電話でお問い合わせください。TEL 044(733)5560